

## ■第7回 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 会議録■

日時 : 平成20年12月9日（火）18時～20時  
場所 : 武蔵野総合体育館会議室（3階）  
出席者 : 委員 本村清人、河上一雄、本郷伸一、赤萩恵子、和田明子、守屋るり子、後藤信義、  
古矢武士、島本康子、茨木信、萱場和裕  
欠席委員 : 大町洋  
: 庁内ワーキングチーム 大久保宏、鈴木早代子  
事務局 : 担当課職員 西川和延（生涯学習スポーツ課副参事）、茂木孝雄（生涯学習スポーツ課  
スポーツ振興係長）  
: コンサルタント 黒崎晋司・木藤直隆（株式会社 地域計画建築研究所）  
傍聴人 : 2人

### － 議事要旨 －

#### □開会

#### □資料確認

本日の次第、「資料1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」「資料2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」「資料3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）」「第6回策定委員会会議録」

#### □会長挨拶

委員長：「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告」についてのパブリックコメントでは、多くのご意見を市民の方からいただいた。本日は、策定委員会として、パブリックコメントの意見に対して、どのような内容で回答していくのか確認していきたい。そのうえで、「資料3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）」についても、時間の許す限り検討していきたい。

#### □議事

##### （1）パブリックコメントについて（資料1）

事務局：「資料1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」について、主に以下の内容を説明した。

- ・全部で14名の方からご意見をいただいた。形式的な手は加えているが、原文のまま掲載している。ページごとに左側の欄でいただいた意見を掲載し、真ん中の欄で、施策の体系図のどこにあたるものかを分類して示し、そのうえで右側の欄で見解案を記載した形でまとめている。
- ・14名のうち1名ごとにご意見の主なポイントを説明し、事務局で検討した見解案について説明した。（議事録上は、1名ごとにご意見の内容の主なキーワードのみ列記した。）

- ・1人目のご意見は、「社会人でも参加できるようなスポーツ教室のニーズ」等
- ・2人目のご意見は、「地域でのスポーツ振興」「スポーツ振興事業団の役割」等
- ・3人目のご意見は、「地域スポーツの担い手の大切さ」「スポーツをしない人へのきっかけづくり」等
- ・4人目のご意見は、「キャッチフレーズ案」「スポーツ障害などの予防」「情報提供」等
- ・5人目のご意見は、「市民のニーズをふまえた情報提供の充実」等
- ・6人目のご意見は、「市民スポーツ功労者の表彰制度」について
- ・7人目のご意見は、「年代に応じたスポーツのニーズ」「ストリートスポーツ」等
- ・8人目のご意見は、「だれもが気軽にスポーツができることのニーズ」等
- ・9人目のご意見は、「総合型地域スポーツクラブ」について
- ・10人目のご意見は、「身近な場所でスポーツができる環境などへのニーズ」について
- ・11人目のご意見は、「市外の生活圏エリアや近隣市区との連携」「競技スポーツのレベル向上」等
- ・12人目のご意見は、「公園や学校の校庭の芝生化」について
- ・13人目のご意見は、「スポーツ振興の哲学や社会的意義」「総合型地域スポーツクラブ」「スポーツイベント」等
- ・14人目のご意見は、「総合型地域スポーツクラブ」について

委員長：パブリックコメントに対する策定委員会の見解案についてご意見いただきたい。

パブリックコメントの見解案については、本日皆さまからいただいたご意見をふまえ、最終的には私と事務局で調整させていただきたい。

全員：異議なし。

委員長：ある程度分量があるので、ページごとにご意見いただきたい。

委員：1 ページ目で、「スポーツ振興事業団について、市民一人ひとりのニーズに応える不可欠な存在になってほしい」といったご意見があった。スポーツ振興事業団の役割については、「きっかけづくり」が大きな役割の一つだと考えているが、このご意見は市民がもう少しレベルアップを図れるようなことも視野に入れたご意見だと思う。現実的には、「きっかけづくり」を推進する事業で手一杯なようにも思う。どこまでスポーツ振興事業団として担うことが可能かどうか。

副委員長：見解内容については、スポーツ振興事業団の事業計画やねらいと整合していく必要があると思う。

委員長：見解について、今後のスポーツ振興事業団の方向性などとも関係してくることでもあるので、「市、スポーツ振興事業団、体育協会、関連機関等の連携など、様々な団体等と連携しスポーツ振興の推進力となる」というような表現で答えていくこととしたいがどうか。

全員：異議なし。

委員長：2 ページ目について、キャッチフレーズに関するご意見、「POINT レーシング制の導入」といったご提案などもいただいている。キャッチフレーズについては、これまでの策定委員会での議論をふまえ可能な限り横文字を使わずに分かりやすいことと回答していきたい。「POINT レーシング制」については、「今後参考としていきたい」という形の記述で良い

のではないか。

全 員：異議なし。

委 員：3 ページ目のなかで、「市のスポーツに関するニーズはどの程度把握されているか」というご意見がある。今回のパブリックコメントにかけた中間報告では、昨年度に実施した『武蔵野市スポーツ市民意識調査』からの引用がほとんど無いので、「平成 19 年度に実施した『武蔵野市スポーツ市民意識調査』を見てください」という見解だけではこと足りないと思う。

今回の中間報告では、『武蔵野市スポーツ市民意識調査』でおこなった住民や市民のニーズなど、その結果をふまえて計画の方向性や方針などを検討してきたという記述が無い。そのことにより、計画のなかでの「武蔵野らしさ」という印象を個人的にはまだ受けない気がしている。この見解では、「最終的な計画書のなかでは、『武蔵野市スポーツ市民意識調査』のニーズから施策が導かれている経緯をもう少し記述していきたい」といった文章を入れていただきたい。

委 員 長：ご意見のなかで「情報提供の充実」に関するご意見がある。見解としては、想定される基本施策を列記したうえで、「必要とされている情報を整理し、分かりやすく、簡便にアクセスできるよう努めていきたいと考えます。」という形で記述すると良いと思う。

委 員：「簡便にアクセスできる」という横文字で表現するよりも「容易に利用できる」としたほうが分かりやすい表現になると思う。

委 員 長：そのような形で修正していきたい。もう一つご意見のなかで、新しい人が参加しやすいような工夫として、「新しい参加者ウエルカムデー」というご提案をいただいている。これについては、「参考としてきたい」という形で記述してはどうか。

全 員：異議なし。

副委員長：「市民スポーツ功労者の表彰制度の創設」に関して、具体的な候補となる推薦者も含めてご意見をいただいている。まだ、具体的にどのような形になるのか検討が必要だと思うので、見解では、その制度の趣旨を述べておけば良いと思う。

委 員 長：「キャッチフリーズ案について公募又は関係者に広く募ってはどうか」というご意見をいただいている。公募するほどのスケジュール的な余裕はあるかどうか。

事 務 局：市報等で広く公募するような時間的な余裕は無い。考えられるとすれば、体育協会を通じて各連盟に呼びかけていくようなことは可能だと思われる。

委 員 長：「キャッチフリーズについては、市民の声も聴きながら今後とも策定委員会で検討したいと考えています。」という記述にしてはどうか。

全 員：異議なし。

委 員 長：4 ページ目のご意見に対する見解案についてご意見いただきたいがどうか。

全 員：特になし。

委 員 長：5 ページ目のなかで、「総合型地域スポーツクラブ」に関するご意見をいただいている。見解案では、「武蔵野市を拠点とする企業によるトップレベルのチームが存在することから、こうした企業との連携等も含めて今後、総合型地域スポーツクラブの調査研究をしていきたいと考えている」といった記述をしている。調査研究となるとこの策定委員会の期間を超えた範囲になってくる。

これまでの策定委員会の議論でも「総合型地域スポーツクラブ」については、その趣旨を活かしながらも武蔵野市が有する資源の有効活用を図っていくという方向性で話し合われている。

「全国的な傾向、設置状況の推移をふまえながら検討していきたい」といった記述が適当ではないかと思うがどうか。「総合型地域スポーツクラブ」は、国の統計では設置数のみしかなく、実際には、全国的な傾向として補助金が無くなると運営が立ち行かなくなり、消滅しているクラブもあるようである。

副委員長：確認だが、市として「総合型地域スポーツクラブ」について、実現していきたいという考え方が基本にあるのかどうか教えてほしい。

事務局：現段階で、市として「総合型地域スポーツクラブ」を進めるという方針は出していない。見解案では、必ずしも「スポーツクラブ」という形ではなくても、「総合型地域スポーツクラブ」の理念を武蔵野市に適した形で実現できるのではないかとすることを基本的な考え方とした内容で記述している。そのような趣旨でスポーツ振興を図るなかで結果的に「総合型地域スポーツクラブ」ができるということはあるかもしれない。市としても身近な地域でスポーツができる拠点が必要との課題は認識している。そのような趣旨で文章の表現については誤解を招かれないよう工夫していきたい。

委員：「総合型地域スポーツクラブ」について、今回のパブリックコメントでもいくつかご意見をいただいている。「総合型地域スポーツクラブ」は実際に立ち上げおこなうのは市民であり、行政はその支援をおこなうことが基本であると思う。市民が自発的に取組むことが基本であることをしっかり明記したうえで、多少の実現性も含めた記述のほうが望ましいのではないか。

委員長：「総合型地域スポーツクラブ」について、この策定委員会のなかでは、調査研究はできないと思うので、文言の修正は必要だと思う。先ほど話したような「全国的な傾向、設置状況の推移をふまえながら検討していきたい」といった記述が適当ではないかと思う。

全員：異議なし。

委員長：他にご意見なければ6ページ目の見解案についてご意見いただきたい。

委員：ご意見にある「近隣市区とのサービスの相互乗り入れ」について、対等の関係であれば、相互乗り入れも可能なように思うが、近隣市区でそれぞれ施設も特長があるかもしれない。総合体育館などについて、市外からの施設利用を受け入れることも良いと思うが、積極的に近隣市区の施設利用を促すようなことは難しいのではないか。実際に相互乗り入れできるのか。

副委員長：武蔵野市は、非常に東西に長く、体育施設が集中しているところがほぼ中心にある。相互乗り入れになれば、近隣市区からも武蔵野市の施設を利用できるようになるといった対等な関係を基本とし、広く開かれていくという意味合いで、近隣市区と調整を図っていく方向で施策を検討するような表現で記述してはどうか。

委員長：その方向でまとめていきたい。その他ご意見なければ次の7ページ目についてご意見いただきたい。ここでは、公園や学校校庭の芝生化についてご意見いただいている。

副委員長：学校の芝生化については、東京都も方針を出しており何度か取組んでいるが、断片的な形でしか取組まれていないと思う。そのような流れのなか、現時点で市として「芝生化」を

受け止めることが可能かどうか。

委員：芝生化は、維持管理を含めた経費が最大のネックになるのではないかと。そういった点を見解の一番始めにもってきたほうが良いと思う。

委員長：サッカーの「t o t o（スポーツ振興くじ）」なども大分売上げが最近では良くなっており、学校の芝生化に補助金を出すことが多くなっている。ただ、これも流動的なものなのでいつまで同様の規模の補助金が出るかは分からない部分がある。

また、以前学校の芝生化について、数年間かけて調査したが、維持管理面に相当に注意をしなければ芝生が根づかないことが分かった。

副委員長：高等学校の校庭の芝生化に取り組んだことがあるが、やはり1年もたなかった。緑の芝生になって、生徒が校庭を使うとあっという間に芝生がはがれてしまい、今度は芝の養生のために校庭が使えなくなってしまう。東京都の政策が今後どのような方向で進むのかということもふまえていく必要があると思う。ここでは、ご意見として受け止めつつも費用面と維持管理面についての課題を記述しておくほうが良いと思う。

委員：日本人は芝生の上で育っていないこともあり、芝生の育て方を知らないため維持管理が上手くいかないのだと思う。一度失敗しても工夫しながら何度か続けていけば良いと思う。欧米もそうやって取り組んできたことで芝生化が上手くできた例がある。

また、「芝生」というと日本人は全面芝生のとてもきれいなものをイメージしていると思うが、ノシバ（野芝）でも良いと思う。

委員長：実際に最近ではノシバが強くて良いという方向のようである。

委員：スポーツ振興の視点から芝生化はとても良いと思う。見解としては、芝生化は、スポーツ振興にとって有意義であることを明記したうえで、「今後検討していきます」というような表現でまとめてはどうか。

委員長：その方向で文章の表現を工夫していきたい。他にご意見なければ8ページ目に入りたい。ここでも「総合型地域スポーツクラブ」についてご意見をいただいているが、先ほどと同様「全国的な傾向、設置状況の推移をふまえながら検討していきたい」といった方向で修正したいと思う。また、見解案で「地域のヒトへのエンパワーメントを目指したい」という表現がある。「エンパワーメント」という言葉は一般化していないのではないかと。

事務局：「エンパワーメント」について、福祉の言葉として元気づけるといった意味合いで使っているが、分かりづらいので書き直したいと思う。

委員長：その他ご意見なければ9ページ目についてご意見いただきたい。

市内のトップアスリートとの関わりについて、見解案では、本計画に位置づけるか否かも含め検討していきたいとの記述があるがご意見いただきたい。

委員：トップアスリートとの関わりについて、この盛り上がりは本来市民から出てくるものだと思う。市としては、市民が一体となって盛り上がってくるようなことがあれば考えていくという姿勢で良いと思う。市が主体ではないので、計画に位置づけるか否かも含め検討する必要はないと思う。

委員長：「本計画に位置づけるか否かも含め検討していきたい」という最初の文章は削除したい。

全員：異議なし。

委員長：その他、市立小・中学校の施設開放についても市民の方からご意見をいただいている。見

解案では、「学校施設は教育活動のため必要なものを安全に配慮し設置しており、施設開放はその状況の中で工夫し展開すべきものと考えます。」とし、「関係機関との調整等も含めて今後検討していきたいと考えます。」とある。

委 員：現状のなかで工夫していくということは良いと思う。

委 員 長：最後の「関係機関との調整等も含めて今後検討していきたいと考えます。」という文章は何をイメージしているのか。

事 務 局：基本的には、学校施設の整備といった話がある場合、当然学校側の意向を優先し設計に入っていくと考えているが、そのなかでスポーツ活動になくてはならない部分もあると思うので提案をしていきたいと考えている。そういう意味での「関係機関との調整」と記述したが、確かにここでは必要ない文章だと思われる。

委 員：「関係機関との調整」という記述は、違う意味にもとれてしまうと思う。

委 員 長：ここでは「関係機関との調整」に関する文章を削除したいがどうか。

全 員：異議なし。

委 員 長：次に 10 ページ目の見解案について、ご意見をいただきたい。

委 員 長：特にご意見ないようであれば、11 ページ目の見解案について、ご意見いただきたい。

ここでは、「武蔵野市が全国に先がけて示し、実践するスポーツ振興の哲学案」としてご意見をいただいている。見解案では、「今後もさまざまな考えをもつ方々と広く意見交換しつつ、本計画の内容の豊富化を図って検討していきたいと考えます。」とあるが、「計画の内容の豊富化」とはどういう意味か、聞きなれない言葉だと思うのでその文言を削除し、「広く意見交換をしていきたい」という文章で回答したいがどうか。

全 員：異議なし。

委 員 長：その他にご意見なければ 12 ページ目の見解案についてご意見いただきたい。

ここでも「総合型地域スポーツクラブ」についてご意見をいただいているが、先ほどと同様「全国的な傾向、設置状況の推移をふまえながら検討していきたい」といった方向で修正したいと思う。

他にご意見がなければ、「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」についての協議を終了したい。

## (2) 基本施策に対応する事業案および武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）について（資料 2、資料 3）

事 務 局：「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）」について、主に以下の内容を説明した。

○「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」

- ・事業案について、前回からの修正箇所である事業名や所管課案を中心に説明した。

○「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）」

- ・主に、新規事業の概要について説明した。

- ・基本方針「I きっかけづくりの充実」では、「スポーツの見方やルールを教える体

験観戦」「トップアスリートやスポーツ選手との交流」「コンパクトスポーツの推進」「商店街との連携・境南北統一ウォークラリー等」「観光推進計画との連携」「スポーツによる国際交流」「女性向けプログラムの開発」「ストリート系スポーツの促進」「昼休みを利用したスポーツの促進」等

- ・基本方針「Ⅱ 継続するための取組み」では、「eスポーツ、VTRをみながらのトレーニング」「ステップアッププログラムの開発」「シーズンスポーツの促進」等
- ・基本方針「Ⅲ 既存資源の有効活用」では、「ウォーキングルートマップの活用」「エコスポーツの促進」「（仮称）スポーツ人材登録事業」「（仮称）むさしの市民スポーツ功労賞の創設」等
- ・基本方針「Ⅳ ライフスタイルの構築」では、「スポーツの様々な魅力を学ぶイベント、先進事例への参加 等」「イベント等の運営に関するサポート」「地域アスリートの応援」「総合型地域スポーツクラブの調査・研究」「ウォーキングによる防犯事業」等
- ・実現化方策「Ⅰ 情報の充実」では、「定期的な市民ニーズの把握に関する調査」「イベント等におけるアンケート調査の実施」「市民からのスポーツ情報の収集整理」「各課事業等の整理、情報誌作成」「ユニバーサルデザインにもとづく情報提供」「スポーツをしたい人への相談事業」「市民のもつスポーツ情報のマッチング」等
- ・実現化方策「Ⅱ 連携づくり」では、「（仮称）出前スポーツ教室、人材派遣事業」等

委員長：既存の事業については、再構築していくということだと思う。また、新規事業については、パブリックコメントの意見もふまえながら検討してきたことが活かされているということだと思う。一括して何かご意見ありましたらいただきたい。

委員：「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）」の新規事業として想定している「（仮称）スポーツ人材登録事業」は、非常に大切なものだと思う。この人材登録をする人は、武蔵野市内に限ったものなのかどうか。例えば、武蔵野市内だけで、競技スポーツを担う人材をすべてまかなうのは難しいのではないかな。

委員：同じ基本施策「地域スポーツの担い手づくりの充実」にあり、健康づくり支援センターが所管する既存事業「専門職の人材バンク」は、市外の方も登録している。

事務局：「（仮称）スポーツ人材登録事業」について、第一義的には、体育協会のスポーツ指導員や市内のスポーツ団体のなかから適任の方などを登録していくということを想定している。当然、スポーツ指導のレベル等によっては、必ずしも市内のスポーツ団体等でまかなえないものもあると思うので、そのような場合は市外の方や団体にお願いすることもあり得るのではないかなと思う。

委員：実現化方策の「Ⅱ 連携づくり」で全体に関わることとして、現在、武蔵野市では「スポーツ振興計画」と同様に「健康福祉総合計画」を策定中であると思う。「健康福祉総合計画」のなかでも「生涯をつうじた健康づくりの推進」という項目が入っており、スポーツ振興計画」があることの引用は必要なのではないかな。

事務局：現在、市では福祉やその他で策定中の計画がいろいろある。当然、各計画との連携を図りながら相互に調整していきたい。

委員：基本方針「Ⅳ ライフスタイルの構築」の基本施策「スポーツをつうじた元気な地域づくり」にある新規事業として想定している「総合型地域スポーツクラブの調査・研究」は、総合型地域スポーツクラブを助成していくような事業であれば進めてはどうかと思うが、先ほどのパブリックコメントの见解とどのように整理すれば良いか。

事務局：新規事業として想定している「総合型地域スポーツクラブの調査・研究」については、パブリックコメントの见解との整合を図る必要があると思う。現在、市には、総合型地域スポーツクラブについての助成等の補助制度は何もなくここで言及するのは難しい。国などには直接支援の仕組みもあり、「総合型地域スポーツクラブを立ち上げたい」という声があった場合には、市でも相談を受ける体制をつくることは有り得ると思う。市としても一定の知識や情報は必要だと考えているが、あえて「スポーツ振興計画」に位置づけることではないとも思う。

委員長：その他ご意見なければ、定刻を過ぎているので本日の協議はこの辺で終了としたい。新規事業については、事務局としてももう少し意見をいただきたいとのことなので、次回でもまたご議論いただきたい。

### (3) その他

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。本日は、若干時間の制約がありましたので、ご意見等ありましたら事務局までご連絡いただければと思っております。

パブリックコメントの见解については、本日ご意見いただいた内容をふまえて修正し、委員長と調整させていただきたい。また、ご意見をいただいた市民の方々に回答すると同時に、市のホームページでも公開していきたい。

次回は、素案のつくり込みとともに武蔵野市がつくる「スポーツ振興計画」として「武蔵らしさ」について、ぜひ委員の方々にもキーワードなりお考えいただき、ご意見いただければと思っている。

委員長：本日はこれで終了いたします。もう一度、修正の必要な点などを整理しつつ、パブリックコメントのご意見等も勘案して、修正したものを次回の策定委員会で確認いただきたい。

次回、第8回策定委員会の日程 1月15日（木）

- ・会議 18:00～20:00（会場 武蔵野市役所西棟 412 会議室）

第8回以降の予定

- ・第9回：2月5日（木）18:00～20:00 武蔵野総合体育館視聴覚室
- ・第10回：2月24日（火）18:00～20:00 武蔵野総合体育館大会議室

以上